

<東海テレビかわら版>

2017年 第91回キネマ旬報ベスト・テン決定  
東海テレビ制作映画「人生フルーツ」  
文化映画 第1位獲得!!

映画雑誌『キネマ旬報』を発行するキネマ旬報社は、本日、「2017年 第91回キネマ旬報ベスト・テン」を発表した。このうち文化映画門で、東海テレビ制作の「人生フルーツ」が1位に選ばれた。

『キネマ旬報』は、1919（大正8）年に創刊し、現在まで続いている映画雑誌として世界一の歴史を有する。最初に、キネマ旬報ベスト・テンを行ったのは1924年度（大正13年）。当初は、編集同人のみによる投票で、<芸術的に最も優れた映画><娯楽的に最も優れた映画>の2部門（外国映画部門のみ）だったが、1926年（大正15年）、日本映画の水準が上がったのを機に現在と同様<日本映画><外国映画>の2部門に分けたベスト・テンに変わる。戦争による中断はあったが、大正年間から継続的にベスト・テンを選出し続けている。世界的に見ても非常に長い歴史を持つ映画賞である。

東海テレビがこの賞を受賞したのは初めてのこと。「人生フルーツ」の監督を務めた伏原健之（東海テレビ報道部）は、「大変栄誉ある賞をいただき感激しています。歴史ある賞の重みを感じながら、これからも誠実に作品を作り続けていきたいと思っています。」と喜びを語っている。

尚、この授賞式は来月2月12日（月・祝）、東京で行われる予定。

以上